



## ■「美」を追い求とめた学生達の4年間の集大成を発表！■ 化粧ファッション学科「卒業研究展示会」「卒業研究発表会」を実施

展示：1月19日（月）～26日（月） 記念館2階／卒業研究発表会：27日（火）・28日（水）

大阪樟蔭女子大学（大阪府東大阪市）学芸学部・化粧ファッション学科は、1月19日（月）～26日（月）に、本学の記念館にて「卒業研究展示会」を行います。さらに27日（火）・28日（水）に「卒業研究発表会」を芳情館で行います。卒業研究展示会はどなたでも自由に見学いただけます。卒業研究発表会は学内関係者のみ参加可能ですが、マスコミの方の取材は歓迎いたします。

### 本件のポイント

- 日本で唯一ファッション、化粧、美容をトータルで学べる化粧ファッション学科で修学した4年間の成果発表
- よそおいをアカデミックに追求した143名の研究論文と作品を一般公開
- 「化粧ファッション」を視点に、SDGs、ファストファッション、メンズメイク・ファッションなどの様々なテーマを考察

### ■日本で唯一 化粧ファッションをトータルで学ぶ

本学の化粧ファッション学科では、服飾・化粧・美容の3領域をトータルで学べることを強みに、よそおいに関する幅広い専門的知識や技能、豊かな感性を養い、化粧ファッション関連産業のみならず、広く社会で活躍し得る主体性・自立性・思考力を兼ねそなえた人材の育成を目的としています。

「卒業研究展示会」では、学生が制作したドレスをはじめ、ヘアやメイク、ネイルのディスプレイ、写真集、研究論文のパネルなど143点が一堂に並びます。さらに「卒業論文発表会」では、制作展で展示した自身の研究や作品の成果のプレゼンテーションが行われます。学生たちは、個性的な15研究室の教員指導の下、色彩、縫製、服飾史、心理学、美粧学、デザイン、ビジネス、身体社会学、化粧科学、環境問題など様々な研究成果を発表します。

### ■今回の見どころ pick up（研究内容 12/143）

143点の研究論文と作品は、時代や社会情勢を鑑みた研究内容を展示しています。  
一部のpick up内容をご紹介します。

- ・琉球紅型における文様の様式と役割の変化に関する考察
- ・一般家庭におけるアピアランスケアの実施方法の提案
- ・児童福祉施設でのメイク体験プログラムの導入
- ・成長の記憶をまとう衣服—子ども服とウェディングドレスへのアップサイクル提案—
- ・ヘアメイクで彩る四季—自然との距離を縮めるための表現提案—
- ・新たなメイクアップ技法の提案—絵画技法を参考に—
- ・高齢女性に向けた健康寿命を延ばすための衣服の提案
- ・DSCを用いた界面活性剤による細胞間脂質構造の変化
- ・液晶を利用した高機能製剤開発
- ・着圧ソックスの使用が血流量および快適感に及ぼす影響
- ・ウイッグの存在意義とヘアドネーション活動の現状と課題
- ・ファストファッションとスローファッションの共存生活

## 【昨年の展示の様子】



### ■卒業研究展示会

◆会期：1月19日（月）～26日（月） ※日曜日を除く

10:00～16:00 ※最終日は12:00まで

◆会場：大阪樟蔭女子大学 記念館 2階  
(東大阪市菱屋西 4-2-26)

### ■卒業研究発表会

◆会期：1月27日（火）・28日（水）※学内関係者のみ

◆会場：大阪樟蔭女子大学 芳情館 5階



つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

＜本リリースに関するお問合せ先＞ 学校法人樟蔭学園 学園広報課（担当：服部・高田）

TEL: TEL:06-6723-8152（直通）（平日9時～17時）FAX:06-6723-8263

E-mail: [gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp](mailto:gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp)